

わいわい



ヤーレンソーラン
コロナに負けるな!!
(浦谷南幼稚園運動会)

【9月会議】

令和2年度決算審査	2
議案審議	7
補正予算	8
町政をただす〈一般質問〉	11
輝くみなさんの声〈キラキラVoice〉	16

9月会議

明け暮れた1年でした

国からの交付金3億4600万円で行った
主なコロナ対策事業



消費を落ち込ませないために

地域商品券・割増し商品券 発行事業 … 5372万円

全世帯に商品券5000円を交付するとともに、3割増し商品券を発行して、消費の喚起と経済の活性化支援を行いました。

災害避難所感染症対策事業 … 5346万円

災害避難所における感染拡大防止を図るため、パーティションや衛生用品などの整備を行いました。



パーティションの設置訓練



導入したタブレット端末

G I G Aスクール対応事業 … 7779万円

文部科学省のG I G Aスクール構想に基づき、ネットワーク整備に係る工事、タブレット端末の購入などを行いました。

G I G Aスクール構想とは、国の令和元年度補正予算に盛り込まれた、全国の児童・生徒1人に1台のコンピューターと高速ネットワークを整備する文部科学省の取り組みです。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、各自治体では、計画を前倒しして行いました。

令和3年涌谷町議会定例会9月会議は、9月9日から15日までの7日間（休会2日間含む）の日程で開催し、令和2年度決算の認定1件、報告3件、令和3年度各会計補正予算など、議案20件を原案どおり可決しました。一般質問には4人の議員が登壇し、7項目について町政をただしました。令和2年度各会計歳入歳出決算の認定については、議員全員による決算審査特別委員会を開催して、3日間慎重に審議し、認定しました。また、議員発議として、議会基本条例と会議規則の一部改正、意見書の提出についても審議し、可決しました。

令和2年度決算

新型コロナウイルス対策に

令和2年度一般会計・特別会計等歳入歳出決算額

会計名	歳入	歳出	※翌年度への繰越財源額	実質収支額
一般会計	105億1741万円	103億2948万円	1008万円	1億7784万円
特別会計（3会計）	41億1200万円	40億4968万円	—	6232万円
収益的収支	収入	支出	—	収支
水道事業会計	4億330万円	3億7585万円	—	2744万円
下水道事業会計	4億8503万円	4億7221万円	—	1282万円
病院事業会計	20億68万円	20億4703万円	—	△4634万円
老人保健施設事業会計	5億288万円	5億2323万円	—	△2035万円
訪問看護ステーション事業会計	5279万円	6358万円	—	△1078万円

※翌年度への繰越財源：年度内に完了しないため翌年度に繰り越す事業に充てるための財源。
 ※全て万円未満切り捨てのため数値が合わないことがあります。

監査意見

代表監査委員

遠藤 要之助

監査委員

竹中 弘光

財政分析指標から見た現状は

実質収支比率が3・6%となり、適正な範囲とされる3～5%の範囲内となったことは、厳しい財政状況の中、適正な予算執行が行われた結果である。

実質公債費比率については9・2%と、前年度比1・3ポイント改善したが、本町は財政非常事態宣言を発令していることから、財政状況には引き続き注視が必要である。

経常収支比率においては、89・0%となり、前年度91・5%より更に改善した。

一般会計の意見

町税全体の収納率は95・5%で、前年対比0・3ポイント増となったことは担当課の努力と認める。

今後各種計画の事業及び財政バランスを勘案しな

がら、より健全かつ効率的な行財政の運営に努められるよう望む。

国民健康保険

病院事業会計の意見

外科の休診が長期にわたりに続いていることから、早急に医師確保に努められることを望む。

医療費用の改善傾向が数年にわたりなされていることは、医療現場と共に事務方が力を合わせた努力の成果と評価する。

決算審査を終えて

国保病院のあるべき姿の一つとして、近隣に設置の少ない診療科でもある人工透析の検討をすべきではないかと思われる。

病院で人工透析を行えるようになれば、人と金を町に還流させることができる。さらに、通院している患者の負担軽減にもなり、病院の増収につながると思われる。

ぜひ、町長及び町民医療福祉センター長の英断を期待したい。

決算審査 特別委員会



鈴木英雅委員長

令和2年度の各種会計決算については、決算審査特別委員会を設置し、9月10日・13日・14日の3日間で審査を行いました。

ここでは、主な質疑と答弁を掲載します。

一般会計 質疑

歳入

新型コロナウイルスの影響は

問 伊藤 雅一 委員
新型コロナウイルスの事業資金はどう考えているか。

答

令和2年度は、新型コロナウイルスの関係でいろいろな事業を行ってきた半面、できなかった事業もあった。資金面では、補助金で対応できたと思っている。

会計年度任用職員制度 導入による比較は

歳出

佐々木 敏雄 委員

問 会計年度任用職員制度を実施した結果、どの程度の金額の差異があったか。

答

嘱託等の経費は、多課にわたっているので集計していない。

経済センサスの活用方法は

杉浦 謙一 委員

問

経済センサスの調査活動をしているが、どのような活用方法があるのか。結果を議会にも知らせてもらいたい。

答

総合計画策定の際の分析などに活用する。可能であれば議会にも知らせる。

手厚い移住支援の考えは

佐々木 みさ子 委員

問

出生数が減少しているが、移住者、若者世帯の定住につながる手厚い移住支援などの考えは。

答

令和6年から操業を開始する企業があるので、若者の移住に期待し、今後、施策の検討を行う。

民生費

生活再建支援金の流れは

杉浦 謙一 委員

問

台風被害の生活再建支援金の手続きの流れは。

答

福祉課が窓口となっており、県を通じて公益財団都道府県センターから振り込まれる。現在、5世帯7人が利用している。

衛生費

看護師等奨学金 貸付事業の再開は

稲葉 定 委員

問

この事業を休止している理由は何か。この年度の学生だけが不公平になる。財政再建を理由に中止してよい事業ではないので、改善するべきではないか。

答

予算が確保できなかった。次年度は獲得に向け努力する。

農林水産業費

全国和牛能力共進会の現況は

後藤 洋一 委員

問

来年開催される第12回鹿兒島大会に向けて、当町から出品できる留牛の現況は。

答

優秀な成績を収めるため、和牛改良組合、JA新みやぎと一体となり、全国大会出場に向けて努力している。



森林経営管理制度の内容は

問 佐々木 敏雄 委員
森林経営管理制度は、何年間の事業計画で、管理の意向調査の結果はどうだったのか。
また、業務委託は希望があれば個人にも行うのか。

答 計画は10年間であり、53件の対象のうち、23件が町での管理希望であった。
委託は、業者か森林組合にと考えている。

教育費

海洋センターの管理は

問 黒澤 朗 委員
海洋センターに管理人がいない、この町民の声がある。予算圧縮のためなのか。
今後、安全管理ができないのであれば、指定管理者制度なども含めて、早急に問題解決するべきでは。

決算審査

答 現在、公民館と海洋センターの両方で人体制である。
今後、利用者の声を聴きながら、検証を重ねて検討していく。

問 後藤 洋一 委員
電光掲示板（スコアボード）の整備についてはどう考えているか。

涌谷スタジアムの電光掲示板の整備は

答 見積りを徴収して、検討していく。看板については、意見や提案を聴き、現場を調査しながら対応していく。

また、財源確保のため、外野フェンスに看板を、広告料として充てている球場もあるため、現場を調査の上で進めていくのもよいと思うが。



平成12年9月完成から21年が経過した電光掲示板

米飯を主にした学校給食の考えは

問 佐々木 みさ子 委員
米価の下落が見込まれる。地場産食材の活用で、米飯を主にした学校給食の考えは。

答 現在、週4日の米飯給食を行っているが、さらに検討する。

公債費

借入金の金利は

問 伊藤 雅一 委員
借入金の金利は、平均でどれくらいになっているか。

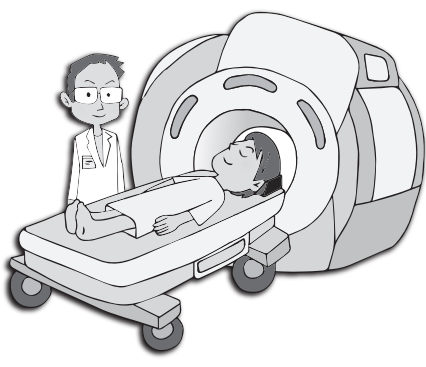
答 1千万円以上だと、0・65%〜1%くらいである。

国保会計 質疑

基金による国保病院への支援は

問 久 勉 委員
基金を6億円近く持っているが、平均的な基金の額は療養費の2カ月分程度といわれている。国保病院への支援、例えば人間ドックへ活用できないか。

答 国保病院と検討していく。



病院事業会計質疑

新型コロナウイルスの影響は

稲葉 定 委員

問

概要報告には、新型コロナウイルスの影響についての記述がないが、実際にはどうだったか。

また、陰圧テントを購入しているが、使用実績はあるか。

答

受診控えなどの影響があったが、入院患者数は、医師の努力で増えている。

テントは非常時に使用するものなので、今はその状況ではない。

問

今使わないで非常時に、と言いが、いつが非常時なのか。財源が交付金であっても、必要な付金ではないか。

答

陰圧できるテントがないので、他の病院からの転院などに備えた。

陰圧テントの仕様は

浦澤 義和 委員

問

陰圧テントの数や室内室外用の別、付随機器などの仕様はどうなっているか。

答

室内用のテントで、付随はコンプレッサ方式のエアコンが一基である。耐用年数は、付随機器共に7年である。



ウイルスの拡散を防ぐ陰圧テント

日々の運営は大丈夫か

黒澤 朗 委員

問

令和2年度において、外科医の退職があったが、医師確保はどうなのか。退職したことによる収入への影響額は。また、キャッシュフローがマイナ

スだが、日々の運営は大丈夫か。

答

外科医確保に向けては、センター長、事務長が各方面に働きかけ努力している。外科医退職による影響額は約2億円である。資金不足は一時借入れでしのいでいるが、今年度は収支の均衡がとれると考

訪問看護ステーション事業会計 質疑

人件費のバランスは

久 勉 委員

問

職員の配置で、約1千万円もの赤字を出すのはおかしいのではないかと。町全体を見て人件費のバランスを考えるべきでは

答

全てを見ることはできないが、今後も町長の立場で判断していく。

本会議討論

反対

杉浦 謙一 議員

一般会計での放射能汚染廃棄物対策経費2415万147円について反対討論を行う。

反対

黒澤 朗 議員

令和2年度から放射能稲わらを焼却しているが、本来100ベクレル規制であったものが、8000ベクレルまで安全であるというの疑問である。バグフィルターにおいても、製造メーカーは「95%の放射性物質除去」との見解である。

町民の健康を考えると、ば、この事業を早く中止するように求め、反対討論とする。

病院事業会計には、監査委員の指摘にもあるようにさまざまな問題がある。病院事業の在り方が早急な問題だ。

医療収入は人口減少に連動していると思う。人口減少は、税収のみならず交付税にも影響する。一般会計から病院への拠出金にも影響がある。

反対

佐々木 敏雄 議員

先に、令和2年度病院事業会計決算は、黒字が見込まれると説明があったが、

よって、将来の医療収入が現状維持は考えられない。病院事業の抜本的な改革を町当局と病院が一体となり、早急に取り組むことを期待して反対討論とする。

議案審議

一町長から提案され審議した議案（補正予算を除く）一 提案された議案は、全て原案可決しました

- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（坊城延溟氏）
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（松本美由紀氏）
- 専決処分の報告について（和解及び損害賠償額の決定）
- 令和2年度涌谷町健全化判断比率及び公営企業における資金不足比率について
- 放棄した債権の報告について
- 涌谷町児童福祉施設設置条例を廃止する条例
- 涌谷町個人情報保護条例の一部を改正する条例
- 涌谷町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
- 特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 涌谷町手数料徴収条例の一部を改正する条例
- 涌谷町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 涌谷町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 令和2年度涌谷町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
- 令和2年度涌谷町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

○涌谷町児童福祉施設設置条例を廃止する条例

城山児童遊園の遊具点検を行った結果、使用不能と判定されたため、遊具などを撤去することとし、条例の廃止をするもの。

質疑

今後の公園設置の考えは

問 町内には、子どもたちが遊べる公園が少ないと、子育て世代の町民から言われる。町として、今後、公園を設置する考えはあるか。

答 地域ごとにあるようなポケットパーク的なものが良いのか、大きな公園が良いのかを、今後、町全体として考えていきたい。

9月会議で反対の表決のあった議案の採決状況

○：賛成 ×：反対 議長は可否同数にならない限り採決に加わりません。

件名	黒澤朗	涌澤義和	竹中弘光	佐々木敏雄	佐々木みさ子	稲葉定	伊藤雅一	久勉	杉浦謙一	鈴木英雅	大泉治	大友啓一	後藤洋一
令和2年度涌谷町各会計歳入歳出決算の認定について	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	欠席	欠席	議長
令和3年度涌谷町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	欠席	欠席	議長
令和3年度涌谷町国民健康保険病院事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	欠席	欠席	議長

補正 予算

<一般会計補正予算（第5号）の主な内容>

（歳入）

・固定資産税……………△1040万円

（歳出）

・道路長寿命化・道路改良工事……………3296万円

・地域防災計画更新業務委託料……………1000万円

・涌谷第一小学校プール改修工事……………500万円

※万円未満切り捨て

質疑

歳入

問 コロナによる固定資産税の影響は

答 コロナの影響による固定資産税の減額とは、どのようなことか。

歳出

問 遊具の入札方法は

答 コロナ禍で生産などが著しく落ちた事業者の支援策で、償却資産の減免がある。

問 遊具の撤去などを各課で予算計上しているが、入札方法は何か。また、今後公園を設置する考えはないか。

答 一括入札方式を考えている。今のところ、新しく設置する考えはないが、関係課などと検討していく。

9月補正

「稀世」の積極的なPRを

問 黄金大使安野希世乃さんプロデュース、純米大吟醸「稀世」の積極的なPR活動をすべきではないか。

答 今年度も昨年と同じ生産本数を予定しているため、PRをしていく。



コロナ対策認証奨励金の件数が少ないのでは

問 みやぎ飲食店コロナ対策認証取得奨励金は、20店舗の予算措置は少ないのではないかと。

答 希望があれば受け付けることとしており、制限はない。

はと麦茶の販売休止の理由は

問 当町のブランド飲料である「はと麦茶」が販売休止になるのはなぜか。

答 多くの皆様に飲んでいただいたが、在庫が残り、休止となった。今後、諸課題を検討し、目的を持ち再販できるように考える。

企業の立地に伴う道路対策は

問 数年後、従業員400人程度の企業の操業が開始される。通勤ラッシュが予想されるので、う回路などを考えるべきでは。

答 現在は、道路の新設改良工事に対応している。別ルートの建設には課題があるが、地元からの要望もあるので、地域全体として考えていきたい。



今後整備予定の涌谷浄化センター沿いの道路

施設営繕担当部署の設置を

問 提言であるが、町道や各課施設の営繕担当部署を作るのはどうか。

答 全体としての公共施設等総合管理計画の完成度を高めながら、その場限りの施設管理にならないように、再構築したい。

防災マップの見直しは

問 地域防災計画の見直しを行うことにより、防災マップの見直しや変更などがあるか。

答 今回は、地域防災計画の見直しであり、防災マップの見直しは行わない。

花勝山地域の避難所整備は

問 各避難所の整備状況をPRするとともに、西地区の花勝山地域の避難所整備と設置についてはどうか。

答 広報や避難訓練などを含めPRしていく。花勝山地区においては、石坂集落センターのトイレ改修などの整備をしており、避難所設置については、慎重に検討していく。



石坂集落センター

一小プール修繕の時期が遅い

問 第一小学校プールの補修工事であるが、もっと早く不具合を発見できなかったか。

答 清掃などの作業の中で、塗装の剥離がひどいことが判明した。他校や民間のプールを使用できないか検討したが、断念した。

佐々木家住宅の利活用は

問 佐々木家住宅の利活用はどうなったのか。町で所有している文化財を、コロナ収束後に、公開や展示することはできないか。

答 佐々木家住宅については、関係各課で協議し、利活用の計画を作成した。収蔵品については、公開展示に向けて検討していく。

討論

賛成 佐々木 敏雄 委員

経済的に困窮する世帯などへの食品の提供による孤立防止やコロナワクチン接種困難者への手助け、ひとり親家庭などへ商品券や物資の提供、支援事業など、職員同士が話し合い、考え抜いた町独自の事業であり、温かい行政サービスの精神が感じられるので賛成する。

反対 久 勉 委員

地域防災計画の見直しだが、なぜこの時期なのか。職員ではできないのか。昨年度の福祉計画は、職員が自ら作成している。他の町村の計画を参考に、自分たちで作るといふ気概が見られないのは残念であり、反対とする。

病院事業会計 補正予算

支出で、常勤医師の確保に伴う5900万円と医療機器購入に伴う増額をするもの。

町長とも協議して決定した。

医師へのノルマはあるのか

問 医師の報酬(年俸)制による採用は賛成であるが、ノルマは課しているか。

答 医師一人当たり1億8千万円ぐらいの収益を期待している。1年更新の契約であるが、医師たちも病院の役に立ちたいと言っており、改善が期待できる。

質疑

医師増による収入は

問 医師増で収入が見込まれる。今回予算計上すべきではなかったか。

答 コロナ関係の収入もあるのですが、合わせて12月に予算措置する。

医師の報酬は誰が決めるのか

問 契約医師であり、公務員の身分がないことは、会計年度任用職員との条例に違反するのでは。

答 企業職員の給与は、地方公営企業法に基づき、センター長が決める。

質疑

コロナ支援金の内容は

問 新型コロナウイルス感染症対応事業支援金給付事業補助金の詳しい内容は。

答 令和3年10月〜12月の売上が、前年または前々年より減少している事業者に10万円を支給する。

一般商店への支援は

問 商工会には、多くの事業者がコロナの影響による相談にきている。飲食店には国からの措置があるが、一般商店などには措置がない。町独自の対策を行う考えはあるのか。また、町融資の在り方などを考えてほしいが。

答 国、県に対して、目に見える対応を求めながら支援を考えていきたい。

議員発議

○議発第8号

涌谷町議会基本条例の一部を改正する条例

：(賛成全員で可決)

○議発第9号

涌谷町議会会議規則の一部を改正する規則

：(賛成全員で可決)

この2件は、議会における質問・質疑の方法などについての改正をするもの。

○議発第4号

「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」の提出について

：(賛成全員で可決)

新型コロナウイルス感染症対策の影響による地方一般財源の確保、地方税財源の確保について、内閣総理大臣ほか7人に意見書を提出するもの。

皆さんからの 請願・陳情

○令和3年陳情第2号

件名 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情

陳情者 「新しい提案」

実行委員会責任者

安里 長従ほか

○令和3年陳情第3号

件名 人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請すること

陳情者 沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤ

」代表 具志堅 隆松

以上の2件は、議会において配布しました。

9月会議では、9月9日に一般質問が行われ、4人の議員が町政について質問をしました。

掲載されている質問と答弁は、質問した議員が600字以内で要約し、広報分科会委員が調製したものです。

町のホームページでは、動画の録画配信を行っていますので、そちらもぜひご覧ください。

涌谷町ホームページURL

(<http://www.town.wakuya.miyagi.jp>)



ズバリ町政をただす

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについての考えを問い、報告や説明を求め、よりよい方向へ導くものです。

佐々木 敏 雄 議員(12ページ)

- ①小中学校特別教室にエアコンの設置と通学路の緊急対策必要箇所抽出について
- ②病院事業決算を終え、資金不足等の解消策の考えは

伊 藤 雅 一 議員(13ページ)

- ①わが町の財政について問う
- ②町の病院事業について問う

杉 浦 謙 一 議員(14ページ)

- ①新型コロナウイルス感染症対策についての考えは
- ②町民バスの住民に依拠した運行についての考えは

稲 葉 定 議員(15ページ)

- ①自然災害に対する備えを再度問う

佐々木 敏雄
議員



問 小中学校の特別教室は、全学年が使用するがエアコンがない。設置すべきでは。

教育長 必要性は感じていますが、電気設備などの状況などで、事業費が変動する。町長部局と相談し、対応したい。

町長 財政負担額や維持管理費などを含め、検討したい。

問 涌谷高校や小中学校は、町が災害の避難所に指定している。エアコンの導入手段として、災害対策事業なども模索しては。

町長 避難所としての活用面からの財源確保も検討したい。

面し、ガードレールもなく、危険な箇所であるため、整備に向け、国に要請を行うべきでは。

町長 劣化も激しいようであり、町道でもあるので、関係各課と検討し、考えたい。

問 資金不足等解消計画の見込みをどう考えているか

答 病院の改革を更に進める(センター長) 解消計画を推進し改善を図る(町長)

問 病院の経営は、年々苦しい状況に思える。

これまでの病院経営健全化の取り組み方針だけでは解消は無理と思うが、新たな解消方法の考えは。

を改善することである。

問 方針で「町の規模に合った病院運営」に対し、一般病棟の在り方を検討する。」とあるが、どのような検討をしているか。

の費用がかかり、収入も減っている。医師の退職は十分配慮すべきでは。

センター長 こちらの要望に対し、対応できかねるとのこと、やむを得ないことであった。

問 町長の考える持続可能な病院の在り方、姿はどのようなものか。

町長 建設当初からの町民医療福祉センターシステム構想が崩れてきている。

現在も必要な構想なので原点に立ち返る。

問 有識者会議で提案された「町の身の丈に合った病院運営」に対し、身の丈とはどのような病院を考えているか。

町長 身の丈は、日々の経営の中で探し出すものであるが、近々に探し当てなければならない。

問 小中学校特別教室にエアコンの設置を

答 財政負担額等を考え検討したい

問 馬場崎の水路にある歩道は、小中学生と高校生が対面登校しており、腐蝕や経年劣化が進んでいる狭い通学路である。三差路の交差点でカーブに

センター長 7月に副院長を迎えた。院長と連携して、病院の改革をさらに進めて行く。

町長 資金不足等解消計画を推進し、収益

センター長 病床稼働率も上がっているので、現状で継続して行く。

問 医師が退職したこと、で、医師確保に多額



問 わが町の財政について問う

答 資金管理・事業運営の改革・改善に取り組む

問 現在の財政状況と、その具体的発生原因について問う。

町長 平成31年1月に財政非常事態宣言を発令し、9月には財政再建計画を策定し、現在、計画を推進中である。

令和2年度の一般会計の決算では、経常収支比率が昨年度から2・5%改善しており、財政再建計画も達成率83・3%、金額にして約2億円の効果を上げている。

問 今後の財政管理、財政対策について問う。

町長 財政の早期健全化のために、今後も基金を取り崩さない財政運営となるよう改革を進め、財政規律を保った、持続可能な町政運営を図る考えである。

問 財政再建計画5か年が、未達成に至った場合の対策は考えているか。

町長 今後の予算編成において、達成に向けて努力する。

問 病院は赤字だが今後の対応は

答 スタッフ一丸となって乗り越える

問 長年の赤字続きにより、病院の財政状態は相当傷んでいると考えるがどうか。

センター長 近年、赤字経営を強いられ、町民の皆さまには大変心配をかけており、申し訳なく思っている。黒字化に向け、町主催の『町財政及び病院事業に係わる有識者会議』や院内の「検討会」で議論を重ね、経営の健全化に向けて取り組んでいく。

問 病院の資本金は現在赤字になっているが、今後の対応について問う。

センター長 経営の健全化確保をはじめ、診療科の見直しなど行っており、院内の検討会では医師も含めて検討を行っている。スタッフ一丸となって、この難局を乗り越えていきたいと考える。指導をお願いする。



財政再建の行方は



問 新型コロナウイルス ワクチン接種の状況は

答 65歳以上の方で、9割が 2回目の接種を終えている



問 涌谷町内のワクチン接種が進んでいるが、年代別の接種率はどのような状況か。

当初、60〜70%の接種率で、集団免疫が達成できると試算されていたが、現在、厚労省では、ワクチン接種の効果はわからないとの見解である。

町長 現段階で、65歳以上の約9割が接種を終えている。1回目接種が50代で約75%、40代で57%、30代で42%、20代で35%となっている。

問 どのくらいの接種率を目指すものなのか。

コロナ対策室長

当初、60〜70%の接種率で、集団免疫が達成できると試算されていたが、現在、厚労省では、ワクチン接種の効果はわからないとの見解である。当町としては、希望者全員に接種できるよう努力していく。



問 老人への福祉として 町民バス利用の考えは

答 免許証自主返納者への 無料券交付などに取り組んでいる

問 老人への福祉として 町民バス利用の考えは。

乗車拒否の状況については、バス事業者に聴き取りを行い、事実が確認された場合、改善するよう指示する。

町長 65歳以上の運転免許証自主返納者に対し、町民バス無料券を交付している。

また、社会福祉協議会では、自宅近くのバス停から目的地までの専用の時刻表を作成する「マイ時刻表」に取り組んでいる。

問 万が一、乗車拒否の 対処法は。

町長 道路運送法第13条では、「正当な理由がある場合を除き、乗車拒否は行つてはならない」と規定されている。





問 自然災害への備えを問う

答 資機材を準備して訓練する

問 当町は自然災害のうち、特に水害への備えをしなければならぬが、装備の量や質などは万全か。また、各種資材や器具などの取扱いについて、十分な訓練を行っているか。災害の想定について甘さはないか。

町長 消防団には、各種装備がされている。水害時などに使うゴムボートやライフジャケットのほかに、さまざまな救援資材がある。ボートは消防署と警察署にも配備されている。コロナ感染防止のための避難所用品も準備している。



令和元年東日本台風

問 資機材の準備は計画的に進めていけばよいが、訓練は消防団に限らない。地区のリーダーや役場の職員は言うに及ばず、一般の人々も訓練してこそ災害防止の意識が上がるの

町長 訓練は大事である。訓練でできないことは、実際の場面でもできない。被害を最小限に抑えるためにも、日ごろから意識を高めていく。

訓練については、毎年総合防災訓練が行われているが、そこで各種の資機材の使い方、避難訓練などが行われている。災害の想定については、防災マップをもとにしていくが、想定を超えることも視野に入れて、早めの避難指示を出していく。

総務課長 過去には、職員向け講習を開催したこともあるが、再度、講習を考える。

ではないか。また、避難所において、AEDの使用を要する事態が発生したときに、的確に使用できる人がどれだけいるのか。訓練していないと使えないのではないか。



常に使えるように訓練を

議会に皆さんの
ご意見をお寄せください。

キラキラ Vol.18 Voice



入生田 栄弘さん(下郡区)

Q あなたのことを教えてください。

A 下郡地区で、米やセリの生産と販売を主に営んでいます。自然を相手にする仕事ですが、近年では自然災害が時期を選ばず発生しており、また、鹿の被害も多く発生しています。今後の課題として取り組んでいきます。

Q 議会についてどう思いますか。

A 財政再建からの1日でも早い脱却を、町民は期待をしています。選挙の時の熱い熱意を議会を通して町政にぶつけ、町民目線での改革をお願いします。

Q 涌谷町をどういう町にしたいですか。

A 次世代の子どもたちが、「出身地は涌谷町」と自信を持って答えられるような、将来性と連帯感のある町にしたいです。そして、行ってみたい・住んでみたい町になるよう、仕事を通じて協力していきたいと思えます。

議会から

農繁期のお忙しいところ、議会だよりへのご意見ありがとうございます。町民の食卓に欠かせないおいしいお米と、「桜まつり」になくてはならないセりの生産に頑張ってください。鳥獣被害、特に、鹿や猪などの対策については、隣接する市町と情報を共有するよう、町に働きかけていきます。

涌谷町議会の本会議などをパソコンやスマートフォンで見ることが出来ます。

当議会では、議会の内容を動画配信サイト「YouTube」で生配信しています。

また、各議員の一般質問の内容も動画配信していますので、左下のQRコードからご覧ください。



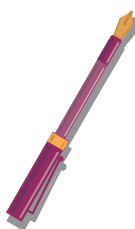
議会を
傍聴しませんか
次回の定例会は
12月8日から
開催予定です。

詳しい日程と一般質問の内容は、後日ホームページでお知らせいたします。

詳しくは、議会事務局
にお問い合わせください。
☎43・2127

編集 広報広聴常任委員会
広報分科会

委員長	稲葉 定
副委員長	黒澤 啓
委員	大友 一
委員	久友 一
委員	伊藤 勉
委員	涌谷 義和



(黒澤)

今年もまた、寒い冬がやってきます。

コロナ禍の収束もまだ見えないまま、生きづらい日々が流れていきます。

町の各種行事の中止、米価の下落、株価の高騰やさまざまな格差の拡大など、予測のできない世の中になっています。

町民の皆さまにとって、穏やかな日々が早く訪れることを願っています。

